

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2018.11.No255

11月号

目次

「まちづくりフォーラム in 釧路」…	1
技術ノート(GPD認定教材)……………	2
応急危険度判定訓練報告……………	4
青年・女性の怒……………	5
〔青年委員会〕	
Coffee Break……………	6
道士会の動き……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>

「まちづくりフォーラム in 釧路」

まちづくり委員会副委員長 清水 浩 史 (札幌支部)



2018年7月7日(土)釧路市観光国際交流センターにおいて、「まちづくりフォーラムin釧路」を開催しました。まちづくりフォーラムは、地域のまちづくり活動にふれ、今後のまちづくりへのヒントを見つける場となることを目的に開催しています。

8回目を迎えた今年のフォーラムは、官民あげて「世界三大夕日の街」として景観を活かしたまちづくりに取り組んでいる釧路市にて開催しました。

前半は、「地域の魅力を活かしたまちづくり活動を学ぶ」と題して、パネルディスカッションを行いました。釧路でまちづくり活動に取り組む4名の方をパネリストとしてお招きし、それぞれのまちづくり活動を紹介していただいた上で、まちづくりを進める上での課題やヒントなどを議論しました。課題としては、若者の人材不足という問題や、まちづくり活動を取りまとめる「プラットホーム」が必要との意見があがりました。また、建築士への期待については、是非、建築士会で「北大通」のグランドデザインを描いてほしいとの意見があがっていました。



パネリストの皆様

後半は、『地域の魅力を活かしたまちづくりの実践演習～世界三大夕日の街の「楽しみ方」マップづくり』と題して、グループワークを行いました。まずは、6つのグループにわかれてのまち歩き。あいにくの雨にもかかわらず、熱心に「地域の宝探し」に取り組んでいただきました。



雨の中のまち歩き@幣舞橋

そして会場に戻り、まち歩きの成果をもとにしたワークショップ。景観を楽しめる場として既存建築物や公共施設などをより有効に活用するためのアイデアなどが積極的に出されました。その際、会員参加者が議論をリードしたり、イメージをサクッと描いてみたり、建築士の存在感を市民の皆さんに知ってもらえたのでは、と思います。



熱く語り合うワークショップ

今回のフォーラムでは、成果が今後の釧路のまちづくりに活かされるよう、市民団体との共催とし、マップづくりを継続していくこととしており、最後には、今後作成するマップのネーミングを、投票により「くしろ(レトロ)うおっちず」と決定しました。今後の展開については、共催団体「釧路夕焼け倶楽部」のホームページ等で発信される予定ですので、ぜひご注目ください。

在来木造工法住宅の断熱改修における 気流止め施工上の注意点

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部
建築性能試験センター 研究主任 遠藤 卓

1. はじめに

道内の戸建住宅ストックの半数程度は、1980年代以前に建設されたもの¹⁾でその大半は、図1(a)に示すように壁内部が床下や小屋裏等が連通しているため、壁内に気流が生じます。壁内の気流は、断熱性能の著しい低下や内部結露を引き起こす原因となります²⁾。この対策には、図1(b)のような気流止めが有効であることが知られています。

これまで、新木造住宅技術研究協議会や当研究機構等は、気流止め等による断熱改修工法を提案・普及してきました（一例を図2）。しかし、気流止めの隙間量^{*1}（図1を参照）や断熱性能向上の定量化は十分にされていませんでした。

そこで本研究では、さまざまな気流止めの施工方法を実験室で再現し、その隙間量の定量化、改修前後の壁体の断熱性能や結露リスクに関する数値解析による評価を通し、断熱改修手法の提案を行いました。

2. 気流止め材に求められる性能

気流止め材は、①裸のグラスウール、②裸のグラスウールをポリエチレンフィルムに入れて内部の空気を抜いたもの、③本州で流通しているポリエチレンフィルムに入ったグラスウールなどが、改修現場で用いられています（②と③を写真1）。

①については、厚みを2倍程度に圧縮して壁内に押し込むことで隙間量は小さくなりますが、湿気を通すことで内部結露を引き起こす可能性があるため、気流止め材としては適切ではありません。②と③



(a) 防湿外被材付きグラスウール (b) 気流止め専用部材
写真1 ポリエチレンフィルムが付属する気流止め材

は、湿気を通しにくいいため有効な気流止め材ですが、いずれもポリエチレンフィルムが厚いと施工後のシワが空気の通り道となり、隙間を増大させます（図3）。この対策として、気流止め材の幅を挿入する壁の内法+10~45mm程度とすること、ポリエチレンフィルムを30μm以下の比較的薄いものとするのが有効です（図4）。

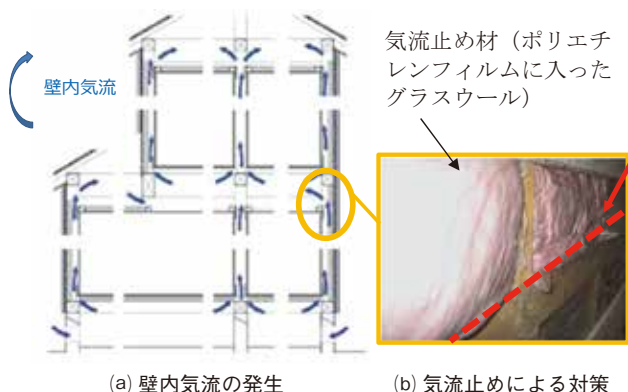
3. 気流止めの適切な施工方法

① 床と外壁や間仕切壁の取り合い部

床下側から気流止めを施工する方法と壁の一部を剥がして挿入する方法が考えられます。前者は大引や根太、釘が障害となり、壁内部まで挿入できず隙間を小さくすることが困難であるため、後者の内装材もしくは外装材の一部を剥がして気流止め材を挿入する方法が有効です。

② 天井懐や小屋裏と外壁や間仕切壁の取り合い部

小屋裏や天井懐側から施工する方法と、壁の一部を剥がして挿入する方法があります。前者は壁内部



(a) 壁内気流の発生 (b) 気流止めによる対策

図1 壁内気流の問題と対策

***1 気流止めの隙間量：**
（適切な施工を行った場合においても）気流止め材と躯体の間には、わずかな隙間が生じる。本稿では、壁の奥行長さ当たりの隙間の有効開口面積を単に、「隙間量」という。
（単位：cm²/m）
壁内気流対策が全くない場合、数百cm²/mとなる。



図2 性能向上リフォームマニュアル³⁾

気流止め材の幅 (壁の内法との差)	+10 mm		+45 mm	
ポリエチレン フィルムの厚さ	20 μm	50 μm	20 μm	50 μm
写真				
シワ	生じ にくい	生じ にくい	生じるが 小さい	生じて 深い
有効開口面積	小さい	小さい	小さい	大きい

図3 ポリエチレンフィルムが付属する気流止め材を模擬壁体に挿入した様子

材料	ポリエチレンフィルムが付属するグラスウール
ポリエチレンフィルム	厚さ30 μm以内のもの
グラスウールの厚さ	厚さ140mm以上のももしくは二つ折りして厚さ140mm以上のも
気流止め材の幅	幅が壁の内寸より10~45mm大きいものを挿入

図4 適切な気流止め材の条件

の釘が挿入の障害になりますが、あまり深く挿入しなくても隙間を小さくできます。ただし、小屋裏や天井裏に人が入り作業を行えるスペースのある場合に限りです。後者の内装材もしくは外装材の一部を剥がして施工する方法も有効です。

4. 気流止め施工による断熱性能の向上と結露の防止方法

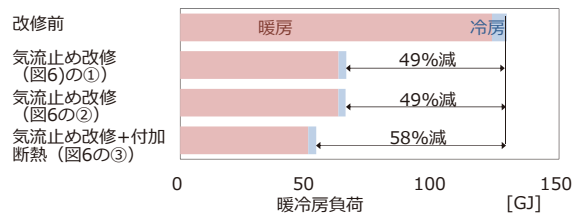
気流止めを設置することによる断熱性能上の効果は、これまで特定の仕様を対象にした実測値で紹介されることがほとんどでしたが、気流止めの隙間量が増えた場合や、断熱材を付加した場合の断熱性能や結露リスクまでは予測できませんでした。

本研究で開発したプログラムを用いて検討した結果、気流止めの隙間量を1.0 cm²/m以下に抑えることで、断熱性能を向上させられることが分かりました。この隙間量は2.で示した気流止め材を3.で示した施工方法とすることで実現できます。

断熱改修による暖冷房負荷削減効果を試算した結果、札幌の気象条件では、気流止めのみの施工で約49%の低減、付加断熱にすることで、約58%の低減が可能とわかりました(図5)。

気流止め改修を行う際の注意点は、室内から壁内への湿気の流入対策を講じずに気流止めを行うと、これまで壁内気流により湿気が排出され生じていなかった壁内結露が生じる恐れがあります。そのため、次のいずれかの対策が必要になります(図6)。

- ① 防湿フィルムやビニルクロスの設置(外壁室内側の防湿気密化)
- ② 通気層の設置(外壁室外側への放湿)
- ③ 付加断熱層の設置(既存断熱層の冬期の低温化抑制による結露防止)



計算条件：一部2階建て延べ床面積100m²住宅モデル、付加断熱のケースではグラスウール32K品を75mm設置し通気層設置したことを想定。気象条件は札幌の平年値。冬季最低室温18°C、4人世帯を想定。改修前は相当隙間面積9 cm²/m²(気流止めに発生する隙間は500cm²/m)、外壁 GW16K 100 mm、床 GW16K 100 mm、天井 吹込みGW16K 200mm、間仕切り壁 無断熱 空気層105 mm。

図5 断熱改修による暖冷房負荷の削減効果(札幌)

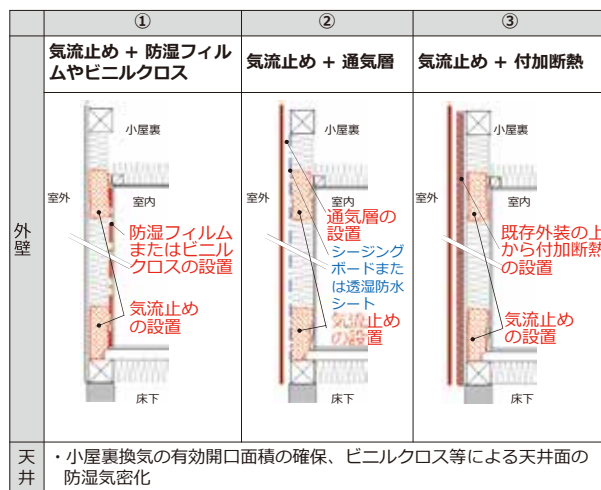


図6 断熱改修手法における外壁と天井の納まり(全体改修の場合、適用地域：北海道)

また、壁内部と連通していた小屋裏の換気量が減少し、野地板等で結露する可能性があるため、壁と床、壁と天井の取り合い部分、天井面での防湿気密化等の対策が必要です。

5. おわりに

断熱改修における断熱効果や施工前後の壁体の熱水分性状に関する数値解析により、断熱性能や結露リスクの推定が可能となり、断熱改修工法を評価できるようになりました。これらの成果を新たな改修工法の開発などに活用し、より確かな断熱改修工法の普及、道内住宅ストックの良質化につなげていきたいと考えています。

【参考文献】

- 1) 総務省統計局：平成25年住宅・土地統計調査による
- 2) 鎌田紀彦，鈴木大隆，廣田誠一：寒冷地における繊維系断熱材を充填した木造壁体の内部結露の防止手法に関する実験的研究，日本建築学会計画系論文集，第513号，pp.39-45，1998.11
- 3) 北海道立総合研究機構 建築研究本部のホームページで公開
<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/develop/index.html>

CPD自習型認定の設問は p 8

応急危険度判定訓練



被災地応急支援委員会 伊井 崇史 (中標津支部)

9月6日に胆振地方中東部を震源としたM6.7の地震が発生し、厚真町では北海道内においてはじめて震度7を観測しました。

この地震により、大規模な土砂災害の発生や、道内全域の停電による生活の混乱など多くの被害が発生してしまいました。

地震動による建物の直接被害も多数発生し、地震発生の日から、延べ108名により813件の応急危険度判定が行われました。

被害の状況については、執筆時点でまだ集計中とのことですが、10月2日付での現地の被害調査報告が北海道立総合研究機構建築研究本部のHPで公開されています。

今回は被害の範囲が比較的狭く、行政職員の判定士により応急危険度判定が行われ、建築士会への派遣要請はありませんでしたが、今年6月の大阪地震では9,538棟、また平成28年の熊本地震では、延べ6,600人の判定士が5万棟以上の建物の応急危険度判定が行われており、北海道建築士会からも判定士の派遣が行われました。

このように、広範囲もしくは住宅密集市街地での地震が起こった場合は、多くの判定士の力が必要となります。

被災地応急支援委員会では、判定活動の支援要請に対して、迅速に対応できるように、士会内部の連絡体制の整備のために判定士である会員に「被災地応急支援ネットワーク」への参加をお願いしています。また、判定士の数を増やすために講習会の開催を行っています。当委員会で行う講習会が、今年から北海道の認定講習会となったことにより判定士の認定と更新ができるようになりました。これまでの北海道主催の講習会以外にも受講機会が増えたので、まだ判定士の登録をされていない方は、是非登録をお願いします。

その講習会が9月28日に釧路市にて、釧路支部主催によって行なわれました。

当日は10名が参加し、応急危険度判定についての制度編及び実際の判定方法についての技術編のガイダンスのあと、被害を想定した資料写真をもとに、木造とRC造の建物を1棟ずつ判定しました。

今回の参加者は皆さん判定士の登録者で、過去に講習会の受講経験のある方ばかりでしたが、判定の答え合わせの際には、一部の項目について「えー？」という声があがり、各自の判定と解答例に差があったようでした。

解答例はあくまでも一例で、実際には判定士の判断によるものとなりますが、実際に条件の悪い現場でスムーズな判定を行い、尚且つ判定の精度を高めるためには、判定訓練の機会を増やして、なるべく忘れないうちに受講していただくことが重要と感じました。

北海道主催の認定講習会は、各振興局で毎年行われていますが、受講できるのが更新年の前年度からとなっているため、講習の期間が4年ほど空くこととなります。当委員会としましても、受講機会の増加について整備を進めていきたいと思っています。

最後に道内の判定士の登録者数についてですが、平成11年のピーク時には、5,240名だったのに対し、平成30年度現在2,768名と、ほぼ半減しています。今年の6月に制度が改正され特定建築物調査員と建築施工管理技士が新たに認定要件に追加され、より幅広い技術者の方に判定士登録をしていただけることになりましたので、建築士会員でまだ未登録の方はもとより、非会員の方や、施工関係の職場の方に積極的に声をかけていただき、判定士の確保にご協力いただきますようお願いします。



ガイダンスの様子



机上訓練の様子

青年委員会

【七月一日は建築士の日】事業

オビヒロホコテン
～建築士と作ろう木工・おもてなしの心に触れよう茶道体験
東西アスファルト事業協同組合補助事業

十勝支部委員長

齊藤 輝治 (十勝支部)



7月29日に市民主導の継続的なまちづくりの取組みとして2006年より行われている「オビヒロホコテン」に出展参加しました。



士会テントブース

- ・まちづくり活動に積極的に参画する。
- ・地域一般の方、異業種、建築士会会員同士の交流を深める。
- ・建築士としての技術向上に努める。
- ・建築士の増員を計る。

上記を主な活動目的とし、【七月一日は建築士の日】の事業として北海道建築士会十勝支部青年委員会は2008年から継続して、11回目の参加となりました。



木工ブース

小学生が夏休みの宿題で提出する木工の作品を、士会テントブース内で30分程度で簡単に作れ

るよう、子供用椅子とブックエンドの材木を予め加工し、建築士会に所属する建築士が電動工具とビスを使用してお手伝いをしながら組み立てます。木工を通じて、ものを作る楽しさや、作った作品を大切に作る気持ちを体感してもらうことができました。



木工の様子

現十勝支部青年委員会の前身、十勝支部青年部が発足した昭和58年より、35年間の活動の中で17件の古建築を調査してきました。古建築ブースでは、それらの調査資料について作成したパンフレットの配布、パネルや報告書として展示し、説明・解説を通じて古建築を認識してもらい、帯広市近郊の歴史的建造物等の発見や、価値の共有、文化財に親しむ機会としていただきました。それにより、建築士会の活動、並びにその活動に携わる、建築士の資格や業務について市民への広報活動の場とすることが出来ました。



古建築・茶道ブース

本年度は茶道団体「茶道裏千家淡交会帯広青年部」の皆様にご参加、ご指導いただき、茶道ブースでお菓子・お茶を点でもてなし、来場者が茶道を通して日本の伝統文化に触れられる体験をし、

学ぶことができました。木工に加えて、お茶を通じて地域一般の方、異業種間、士会会員同士との交流の場となりました。



茶道ブース



茶道裏千家淡交会帯広青年部

【七月一日は建築士の日】の事業における青年委員会の今後の取り組みとして、地元の帯広工業高校生徒、高等技術専門学校生徒、建築に興味のある方々と共に、可動・移動・プレハブ式の茶室等を設計、製作し、ホコテン会場や、他のイベント会場でも設営、展示、使用するなどし、日本の伝統建築に触れることで、古来から現在に至るまでの建築物や住環境を学び、建築の実技・業務の知識を深めることで業界への興味を持っていただく活動を計画し、建築士増員と、士会の拡大につながる活動としていきたいです。

最後に、この度の事業は、東西アスファルト事業協同組合様による協賛のおかげで、椅子50組、ブックエンド22組、お茶体験100名超の過去最大の来場者をお迎えし、盛大に終えることが出来ました。誠にありがとうございました。本誌をお借りいたしまして御礼申し上げます。ご報告とさせていただきます。

日高支部

お仕事体験ミニイベントを開催！

青年委員長
亀田 誠



平成30年8月18日に「ミニ建築のお仕事体験in新ひだか」を新ひだか町の町立こうせい児童館で開催しました。昨年まで行われていた「ちびっ子建築士絵画コンクール」に続く小学生を対象にしたイベントです。本イベントは本部青年委員会が毎年行っている「7月1日は建築士の日」イベントから1つのお仕事体験をピックアップしたミニイベントとしました。内容は「パズルでおうちをかんがえよう」と題し、地元建築士サポートのもと敷地が描かれた用紙に部屋や家具などを選びシールを切り貼りし、あるおばあちゃんが望む間取りを考えてもらうものでした。

初めての試みで、少年団など大会が重なる日の開催ということもあり、当日参加する子どもたちの確保に不安を残したままイベントの準備が進みました。ですが、会場準備の終わった10時にはちらほ

ら子どもたちの姿があり、イベントとして成立できるとひと安心。子どもたちを集め今回のイベントの進め方をひと通り説明すると子どもたちはシールをはさみでチョキチョキ。呑み込みの早い子は手を止めることなく間取りを仕上げていきます。途中地元建築士のサポートで住宅を設計するうえでの注意点や考え方（例えば「日当たり」や「動線」など）をアドバイスし、より良い作品に仕上がっていきました。「こども建築士免許証明書」の記念撮影と景品の駄菓子を手にとり集合写真を撮影し、無事新しいイベントが終了しました。



作業風景



集合写真

本イベントを通じて、子どもたちとふれあい、近い距離間で建築の楽しさ素晴らしさを伝えることができ、子どもたちと直接接するイベントの少ない支部として大きな収穫がありました。反面、反省点としてゼロから間取りを作ることが難しく、それに伴いサポートする地元建築士の数もそれなりに必要になるなど挙げられました。来年以降は反省点を踏まえ、さらに本イベントを盛り上げていきたいと思います。なお、本イベントの参加人数は13名、地元建築士9名でのサポートとなりました。

今回ご協力いただきました児童館職員の皆様、地元建築士の皆様に心より御礼申し上げます。

旭川支部

旭川支部の近況

事務局長
宮原 進



旭川支部の事務局を移転してから早いもので1年が経過しようとしておりますが執務環境は格段にアップし仕事の事務効率も大変良くなったのではないかと感じております。

この間会員の皆様や関係の方々には、何かとご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

当支部の平成30年度の事業も予定通り進めており、残されているのは事務所協会との共催になりますがお菓子の家づくりコンテストぐらいです。

このコンテストは、第16回目を数えますが、これは子供たちにモノづくりの楽しさと何かを共同で行う事の大切さを体験してもらう事を目的に行っております。

数年前までは30組を超える応募がありました。最近では10組を超えるのがやっとの状況で、近年の児童生徒は時間的余裕が無いことと、共同で何かを行うことが不得手になってきていることに加えて、仲間を集めることが難しくなっているのではないかと学校関係者の方が言っておりました。

何とも残念な時代になってきていることを痛感するのは私だけでしょうか。

この他当支部の事業としては、毎年開催される「北の恵み 食べマルシェ」に折り紙建築を体験してもらうコーナーを出店し、このイベントに参加をしておりますが毎年好評で期間中に500人を超える子供たちに参加をしてもらっております。

今年も9月15日から17日までの3日間で延555人もの子供たちが折り紙建築を体験してくれました。これらの事業を実施するに当っ

ては、準備や当日の手伝い及び費用的には大変な部分がありますが、子供たちがこれらの体験を契機に一人でも将来建築に係る道に進んでもらえるようになればとの思いで取り組んでいるところです。



今年の折り紙建築会場風景

この度の胆振東部地震で当支部では特に目立った被害の報告はありませんでしたが停電には参りました。

改めて地震等の自然災害への備の大切さを実感させられました。

被災された皆様には心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧復興をお祈りします。

表彰関係

10月26日開催の第61回建築士会全国大会(さいたま大会)、また、10月6日開催の第43回全道大会(士別大会)の式典において、今年の日建建築士会連合会会長表彰者(5名)、北海道建築士会会長表彰者(187名)の表彰式がそれぞれ執り行われ、賞状が授与されました。

永年にわたり、本会の役員・会員として、会の発展に貢献してくださった表彰者の皆様をご紹介します。

【(公社)日本建築士会連合会会長表彰者】

(敬称略)

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
札幌	松崎 健児	函館	澄 信一	空知	笹木 一茂	十勝	菅野 好治	紋別	栗原 一夫

【(一社)北海道建築士会会長表彰者】

(敬称略)

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
札幌	青木 敏	札幌	工藤美智子	札幌	手島 正博	札幌	山崎 清司	北空知	本家 章	網走	塩川 顕児
札幌	青木 豊	札幌	郷 裕章	札幌	富永 利身	札幌	山崎 久志	北空知	森下 武弘	網走	塩川 裕昭
札幌	秋山 秀一	札幌	越野 哲郎	札幌	中嶋 奈弓	札幌	山本 明恵	旭川	中嶋 康晴	網走	高尾 清
札幌	浅沼 直樹	札幌	後藤 朋恵	札幌	中田 繁一	札幌	山本 金光	旭川	星 英樹	網走	高尾 隆
札幌	東谷 和男	札幌	小林 敦	札幌	中村 啓	札幌	山本 哲実	旭川	松野郷正文	網走	竹内 清
札幌	安藤 雅信	札幌	小林 敏道	札幌	西岡 誠	札幌	遊免 佳彦	士別	鈴木 勉	網走	立花 健一
札幌	池田 敏雄	札幌	小林 光男	札幌	西塚 壮市	札幌	吉木 隆	士別	守屋 明	網走	田中 敏典
札幌	池田 道彦	札幌	小町 美穂	札幌	野村 篤	札幌	吉田 知也	上富良野	黄田 稔	網走	田中九三男
札幌	板谷 薫	札幌	坂井 正周	札幌	長谷川敏文	札幌	吉田 宏	十勝	岡田 英樹	網走	中一 修
札幌	犬石 衛一	札幌	榮 道彦	札幌	畠山 勝美	札幌	米田 恒行	十勝	岡本 隆志	網走	中野 隆則
札幌	井上 勝己	札幌	佐々木信義	札幌	東野 雅司	札幌	渡部 正博	十勝	菊池 功	網走	西川 光彦
札幌	今村 敏彦	札幌	佐藤 栄司	札幌	福本 雅之	恵庭	伊藤 隆英	十勝	久保 謙一	網走	野口 昌美
札幌	牛田 健一	札幌	澤森 行弘	札幌	藤原 昇悟	恵庭	佐々木政男	十勝	日崎 清二	網走	能登 恵人
札幌	蝦名 秀治	札幌	澁谷 一昭	札幌	舟木 正人	石狩	高村 康文	十勝	右谷 昌彦	網走	姫野 康彦
札幌	大滝 光悦	札幌	清水 秀人	札幌	細畑 光明	函館	石王 紀仁	十勝	吉村 一雅	網走	福井 政義
札幌	大谷 康弘	札幌	庄田 俊之	札幌	細畑由貴彦	函館	金山 仁志	釧路	大西 智子	網走	福田 完稔
札幌	小笠原 肇	札幌	菅生 峰隆	札幌	本摩 修司	函館	中澤 篤	釧路	須藤志津子	網走	藤田 雅由
札幌	小川 庄治	札幌	鈴木 和光	札幌	前田 富子	桧山	坪田 有	根室	八木 一城	網走	古川 剛
札幌	小川 光代	札幌	鈴木 正行	札幌	前田 雅彦	小樽	渡部 晃士	中標津	佐瀬 光男	網走	松浦 満
札幌	小原 賢三	札幌	鈴木 基伸	札幌	増田 秀明	後志	榊 政信	中標津	志田 純司	網走	丸田 孝一
札幌	笠原 成雄	札幌	高木 哲司	札幌	松井 司郎	後志	佐藤 裕	中標津	峠 幸男	網走	森本 良樹
札幌	片岡 哲二	札幌	高野 壽世	札幌	松橋 常世	岩内	高橋 則幸	中標津	横堀 昭康	網走	山内 政光
札幌	釜田 幹男	札幌	高橋 敏治	札幌	丸橋 美樹	室蘭	笹谷 雅紀	網走	浅野 昌三	網走	山内 順子
札幌	河上 眞憲	札幌	高橋 政男	札幌	三浦 豊	室蘭	鈴木 稔	網走	阿部 和夫	網走	山口 悟
札幌	川口 孝	札幌	竹下 昇	札幌	三橋 広瑞	苫小牧	木本 清登	網走	荒野 健作	網走	山本 信幸
札幌	川越 富夫	札幌	田城 良之	札幌	宮川 耕介	苫小牧	武山 喜好	網走	石川 信弘	網走	渡邊 一弘
札幌	河村 和義	札幌	田中 繁喜	札幌	宮崎 正之	苫小牧	中田 吉信	網走	上杉 良元	北見	工藤 秀雄
札幌	菅野 泰	札幌	田中 仁	札幌	女鹿 康洋	苫小牧	星 義邦	網走	大江 和晴	北見	西川 泰允
札幌	木島 弘子	札幌	田村 司郎	札幌	森 力	苫小牧	山下 勝美	網走	川部 幸一	美幌	石田 和博
札幌	北川 隆雄	札幌	塚原 則彦	札幌	山内 成公	北空知	菊地 和則	網走	此島 忠	紋別	鈴木 賢広
札幌	木戸 雅行	札幌	爪林 雅行	札幌	八巻 兼三	北空知	窪田 昭夫	網走	今野 高志	宗谷	石井 千秋
札幌	木村 良雄										

受賞おめでとうございます。

道士会の動き

道本部の主な会議報告 (10月)

- ◆第2回道南ブロック会 (室蘭市)
《開催日》10月13日(土)
《議題》1) 北海道建築士会の今後のあり方
2) 平成31年全国大会「北海道大会」
- ◆第4回あり方検討会議
《開催日》10月30日(火)
《議題》1) 北海道建築士会の問題の検討

道本部の主な行事予定 (11月)

- 2日(金) 第2回道東ブロック会
- 4日(日) 二級建築士設計製図試験
- 6日(火) 第2回道北ブロック会
- 9日(金) 北海道ブロック会事務局職員研修会議
- 10日(土) 第3回青年委員会
- 12日(月) 第2回道央ブロック会
- 13日(火) 道・建築7団体意見交換会
- 17日(土) 被災建築物応急危険度判定コーディネーター研修会、総務委員会、女性委員会

関係機関等会議参加予定 (11月)

- 16日 建築CPD運営会議 (東京) 高野会長出席

CPD 自習型認定研修の設問

P2-P3 技術ノート

(在来木造工法住宅の断熱改修における
気流止め施工上の注意点)

北海道建築士 No.255
2018/11/1 単位：1

設問 寒冷地の木造住宅の外壁において、内部結露対策の考え方として不適切なものはどれか。

- a. 断熱層の室内側に防湿フィルムを施工し、防湿性と気密性を高める。
- b. 断熱層の室外側に透湿防水シートと通気層を設置し、放湿性を高める。
- c. 断熱層の室外側に防湿フィルムを設置し、防湿性と気密性を高める。

※不正解の場合は、単位に登録できない場合があります。



CPD認定プログラム(10月認定)

- ◆平成30年被災建築物応急危険度判定
コーディネーター研修会
《日程及び会場》11月17日(土) 13:30~17:00
大五ビル会議室
《単位数》4単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076
- ◆建築士による住教育出張講座
「北海道札幌国際情報高等学校 理数工学科」
《日程及び会場》11月13日(火) 9:50~12:50
北海道札幌国際情報高等学校
《単位数》2単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843
- ◆「コーチングコミュニケーション講座②」
《日程及び会場》11月22日(木) 19:00~21:00
かでの2.7 730研修室
《単位数》2単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士会札幌支部 TEL 011-232-1843
- ◆設計者向け構造セミナー
《日程及び会場》11月2日(金) 17:30~19:00
かでの2.7 1050会議室
《単位数》2単位
《問合せ先》(一社)北海道建築士事務所協会札幌支部 TEL 011-232-2424

講習会のご案内 (11月)

建築生産入門講習会

15日(木) 札幌市

監理技術者講習

9日(金) 北見市 15日(木) 函館市 21日(水) 札幌市

建築士定期講習

8日(木) 室蘭市・釧路市 13日(火) 旭川市
21日(水) 札幌市・帯広市

応急危険度判定士認定講習会

5日(月) 室蘭市 7日(水) 函館市 19日(月) 留萌市
28日(水) 浦河町 29日(木) 岩見沢市 30日(金) 旭川市

建築士による住教育出張講座

北海道室蘭工業高等学校 13日(火)

インテリア作成講座 (建築士セミナー)

24日(土) 札幌市
※地震により中止となっておりますが上記日程で開催します。

防水技術セミナー2018

【主催：東西アスファルト事業協同組合】
7日(水) 旭川市 14日(水) 北見市

編集後記

平成30年北海道胆振東部地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

10月6日(土)に北海道建築士会全道大会が道北の士別市で開催されました。情報委員会では、今年も号外発行を計画しました。

編集作業は毎回ですが時間との勝負であり、また今年トラブルもあり、懇親会の配布に間に合うかどうかギリギリでしたがなんとか発行できました。

全道大会に参加できなかった会員の皆様におかれましては、号外を北海道建築士会のホームページで公開していますので閲覧していただければ幸いです。

情報委員会 熊谷 智 (苫小牧支部)

情報委員会委員長/斎藤 勝哉
副委員長/早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員/熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.255号

印刷 平成30年10月/発行 平成30年11月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番